

学生研究交流会 2023年度活動計画

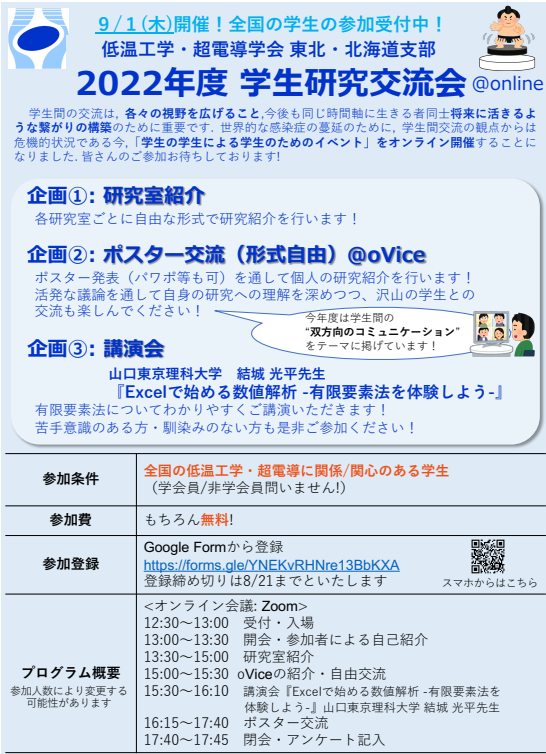
Apr. 14, 2023, 間藤昂允 (○野口 聡)

学生研究交流会の構成

- 形式上は北支部の組織
- 2020年度より活動を開始
 - コロナ禍をきっかけに東北大学・北大の学生らにより発足
 - 本年度で**4期目**
- 全国の複数大学から企画委員が参加
 - 今年度も全国から参加予定
- 目的
 - 学生間交流**の活発化
 - 学生の**主体性**向上
- 参加対象
 - 全国の低温工学・超電導に関係、関心のある学生**(高専生～博士学生)**
 - 低温工学・超電導学会の会員/非会員は問わない

昨年度の企画委員

大学	研究室	学年	氏名
北海道大学	電磁工学研究室	D1	間藤 昂允
〃	〃	M1	中井 優介
岩手大学	藤代・内藤研究室	M2	箱石 裕人
早稲田大学	石山研究室	M2	小久保 早希
九州工業大学	小田部研究室	M1	有田 拳



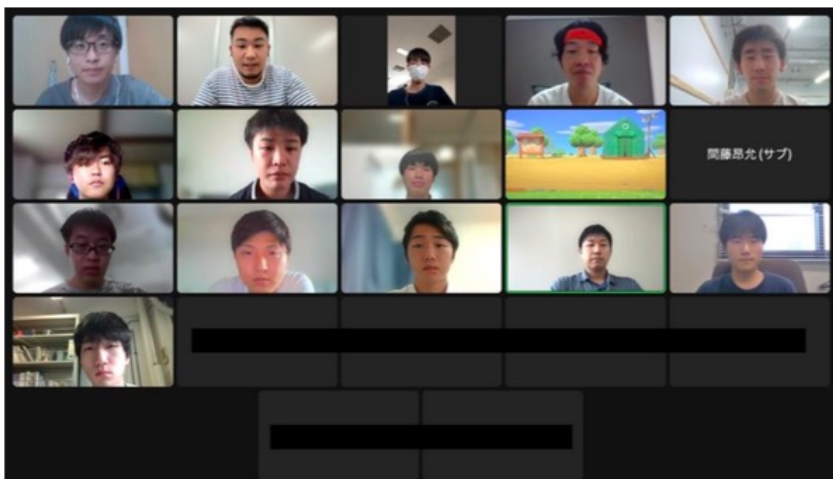
主催：低温工学・超電導学会 東北・北海道支部 学生研究交流会 学生委員
お問い合わせ先： 北海道大学 間藤 昂允 mato_takanobu@eis.hokudai.ac.jp

昨年度の告知ポスタ

学生研究交流会の活動実績(2022年度)

- 3月より準備を行い, 9月に開催
- 計25名の参加者
- 内容
 - 自己紹介
 - 研究室紹介
 - 講演
 - ポスタ交流

2022年3月 企画委員顔合わせ、イベント概要および開催時期の決定
2022年4月 プログラムについて意見交流
2022年5月 プログラムの決定、役割分担
2022年6月 ポスタ作成、講演者決定
2020年7月 参加者募集開始
2020年8月 募集締め切り、oViceの部屋設定



集合写真



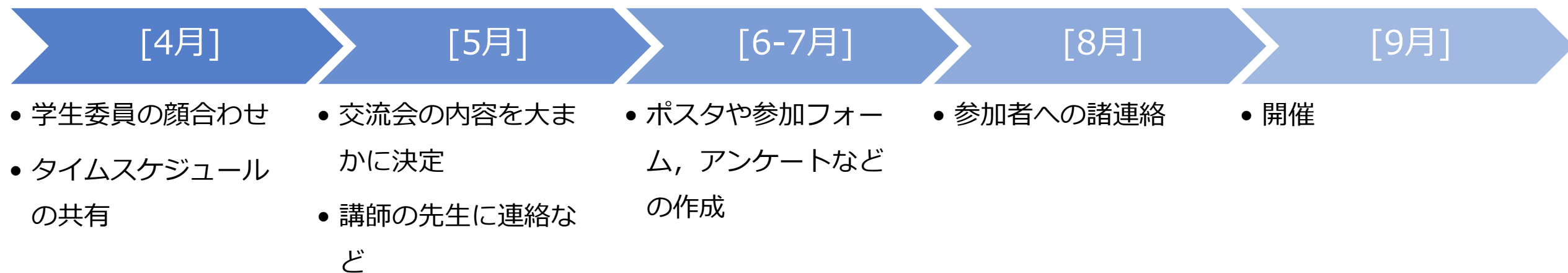
研究室紹介の様子



ポスタ交流会場
oVice上での交流は盛んであった

2023度の活動計画

- 2022年度とほぼ同じスケジュールで活動を進める
- 開催日は9月後半を予定
 - MT, EUCASのポスタを使い回すことができ学生も参加障壁を下げれる
 - 一方, 9月後半は若手セミナーもあり忙しすぎる? 10月初旬も考えている



交流会の内容内容案 -前回の反省を踏まえて-

- 去年度から大きな変更点は無し
 - 研究室/自己紹介 → 講演会 → ポスタ交流
(参考:前回講演題目) 山口東京理科大学 結城 光平先生『Excelで始める数値解析 -有限要素法を体験しよう-』
- 時間が足りないとの声が多かった
 - ポスタ交流などの交流時間を多く増やす
 - **時間配分**の見直し
- 学年ごとの住み分けをどうする？
 - 内容がやや難しいとのコメントがあった
 - 若手同士の研究成果交流は若手の会が担っている
 - もっと初学者の方でも役に立つものを企画したい
 - 学生による**基礎知識講座？データ整理法などの研究豆知識紹介？**
 - ポスタ交流のトピックとして集めると面白い？
- 今年度も全国から参加学生を集めてオンラインで開催